



112 和音

正倉院には約 9,000 点もの宝物が納められています。中国やベルシャなどの文化が色濃く残り“シルクロード”を経て伝わったと言われていています。正倉院の宝物が持つ格式高い美をふろしきに封じ込めました。

今回、「円鏡」、「花氈」に続き「双鳥文」が加わりました。色鮮やかな花々と鳥が舞う豪華な 1 枚です。テーブルクロスとして使用したり、タペストリーにしたりと 112cm の大判ふろしきは多用途にお使いいただけます。

112 和音

¥2,500(税抜) 約112cm|綿100%|箱入

正倉院

聖武天皇・光明皇后ゆかりの品をはじめとする、天平時代を中心とした多数の美術工芸品を収蔵していた宝庫。「東大寺」の一部としてユネスコの世界遺産(文化遺産)に登録されている。

双鳥文(そうちょうもん) 宝物名：紺夾緞あしぎぬの几褥(こんきょうけちあしぎぬのきじょく)

正倉院の南倉に納められている宝物で仏前に供物を置く机の上敷と推定されています。紺地に、大きな花樹と、その下で蓮花座にのって向き合う二羽の水鳥などを板締め染めで表現しており、宝庫に伝わる夾緞(きょうけち)(模様を切り通した2枚の薄板の間に、幾重かに折った長い布をはさんで固く締め、染料をつぎ掛けて染めたもの)の中でも随一の優品と称されています。

New!

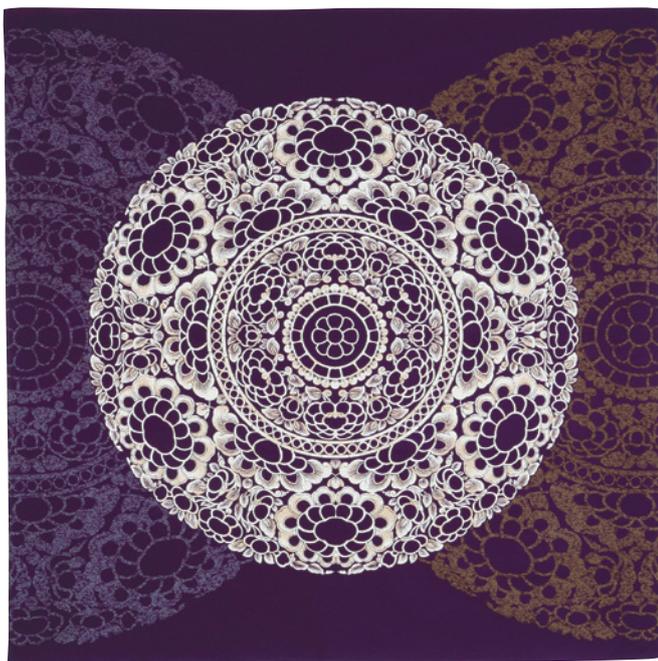


双鳥文 アイ
20402-308



円鏡(えんきょう)

正倉院の南倉に納められている平螺鈿背円鏡。背鏡には螺鈿で花や草がデザインされています。



円鏡 ムラサキ
20402-301

花氈(かせん)

正倉院に納められているフェルトの敷物。羊毛を圧縮して作られた毛氈。オリエンタルな花唐草が描かれています。



花氈 ベージュ
20402-306